

2020年度岩手大学推薦入試における 面接（口頭試問）出題ミスについて

令和元年12月10日
岩手大学

令和元年11月20日に実施しました岩手大学推薦入試において、理工学部の面接（口頭試問を含む）で2件の出題ミスが判明しましたのでお知らせします。

内容は、以下のとおりです。

1. 選抜方法

面接（口頭試問を含む）出身学校長からの推薦書、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定する。

2. 出題ミスの状況及び対応

(1) 物理・材料理工学科マテリアルコース

11月20日の試験実施日において、物理の口頭試問の問題文中で速度 v の単位を“m/s”とすべきところ、“m”として出題したことが受験者からの指摘により判明した。このため、直ちに問題訂正を行ったが、訂正が間に合わなかった2名の受験者の当該設問について満点とする措置を行った上で、合格者の選考を実施した。

(2) 化学・生命理工学科化学コース

当該コースが、学生募集要項で口頭試問の対象となる科目及びその範囲として公表している内容のうち、数学の範囲（数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B）の範囲外である数学Ⅲの内容の出題をしたことが、12月2日（月）に高校教諭からの指摘で判明した。このため、当該ミスにより受験者が不利益を被ることが無いよう、当該の問題については受験者18名全員を満点にする措置を決定した。

なお、採点の再計算の結果は令和元年11月29日（金）に行った合格発表の可否には影響はなかった。

3. 今後の対応

今後同様のことが発生しないよう、チェック体制の強化を図りながら今後の試験に万全を期していきます。